

まちの身近な集える場

# 事例集

## Vol.1

今日はどこへ行こう？  
と思える暮らし



堺市 / 堺市社会福祉協議会





誰が主体となって?

どんな

# 活動をさがす

興味、関心のある事例を選んで読んでいただけるよう、特徴別に分類し、探しやすくしました。

ページの順番で読むもよし、興味のある事例から読むもよし。

あなたが求めているもののヒントにつながりますように!



	地域組織	個人	サークル	福祉・医療法人	対象エリア		
					集合住宅	単位町会	校区単位・区域レベル
事例 1 寺子屋	●				●		
事例 2 子ども食堂「ともちゃん」		●				●	
事例 3 日生ひまわり会/ファミリーの会	●				●		
事例 4 笑話会			●		●		
事例 5 地域交流広場	●					●	
事例 6 アーベインカフェニ輪草	●				●		
事例 7 太井地区ふれあい喫茶	●					●	
事例 8 ふらっと三宝				●		●	
事例 9 みんなのマーケットるびなす				●		●	
事例 10 みんなの応援室「ちぐさのもり」				●		●	
事例 11 グランドオーク百寿				●		●	

## 形態で活動する？

## こんな工夫で悩みごとを解決！

まちの身近な集える場

## 事例集

掲載ページ

担い手		活動頻度				ヒト		モノ	お金	場所			
少人数で	複数の組織・団体で連携しながら	毎日（期間限定開催も含む）	週に1回以上	月に1回以上	数ヶ月に1回以上	担い手の負担を減らす方法	参加しやすい環境づくり	必要な備品・材料等の調達法	活動資金を生み出す	地域の空きスペースを活用して	開かれた施設スペースを活用して	既存のスペースを活用して	地域の集会所などを活用して
●			●				●	●	●				●
●				●				●				●	
●				●		●							●
●					●						●		
	●	●					●		●		●		
	●			●		●							●
	●		●			●	●						●
	●		●			●				●			
	●		●			●	●					●	
	●		●			●	●						
	●		●			●	●					●	

p.3-4 ▶

p.5-6 ▶

p.7-8 ▶

p.9-10 ▶

p.11-12 ▶

p.13-14 ▶

p.15-16 ▶

p.17-18 ▶

p.19-20 ▶

p.21-22 ▶

p.23-24 ▶

悩みごとを上手に解決 — 協働っていいかも♪  
マンネリ化していたサロンが活性化!

p.29

「よし、集いの場をはじめたい!」と思ったら…  
集いの場に関する情報収集・相談先

p.30

この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1 大人と子どもが同じ空間で楽しめる
- ポイント2 趣味や特技を生かした住民の力を借りている
- ポイント3 地域組織間の理解と協力に支えられた活動



人が人を  
集めてくる、  
そんな場所が  
ここにある

活動  
スタートの  
きっかけ

以前は、相談をメインにした窓口を設置していましたが誰も来ない状態が続いていました。単位町会長から相談をうけた民生委員が「喫茶(サロン)をしてみよう、喫茶だけでなく脳トレ(大人の塗り絵など)もやってみよう」と提案したことをきっかけに、管理組合理事会の協力を得て、立ち上げ用備品を準備し、語らい喫茶サロンを開設しました。その後、**集会所前の公園で遊ぶ子どもたちに呼びかけ、大人と子どもが同じ空間で勉強や娯楽を一緒に楽しむ場「寺子屋」としての活動をスタート**させました。もともとは、水曜日に開催していましたが、よりたくさんの方が参加しやすいようにと毎週土曜日に変更して実施しています。

## 活動内容

- ① 高齢者は将棋や喫茶
- ② 子どもたちは宿題やスタッフが用意したプリントをしています(テスト問題等)

子どもたちの自習後は、高齢者からグラウンドゴルフや将棋・麻雀あそびを教わりながら交流をしています。また、集会所の入口では、鈴の宮住宅内の住民が作った野菜を販売しています。

主体 地域組織	対象エリア 単位町会	担い手 少人数	活動頻度 週に 1回以上	ヒト 参加しやすい 環境づくり	モノ 必要な 備品の調達	お金 活動資金を 生み出す	場所 地域の 集会所
------------	---------------	------------	--------------------	-----------------------	--------------------	---------------------	------------------

データ

活動頻度	週1回(毎週土曜日 8:00～11:00)		
参加者属性	高齢者(70歳以上)、 子ども(3～13歳)	参加平均人数	高齢者7～8人、 子ども7～8人
参加対象	住民及び近隣住宅の子ども(校区内)		
担い手属性	鈴の宮住宅老人会	担い手人数	1人
立ち上げ費用	15,000円(財源:鈴の宮管理組合)		
活動継続費用	収入で運営(財源:参加者負担 @100円x15名)		

※累計金でイベント実施:[4月]桜まつり、[8月]夏まつり、[12月]クリスマス会

工夫・効果

- ①活動から日々の挨拶や声かけにつながっており、防犯にもつながっています。
- ②住民の力を生かして、自家栽培の野菜を販売する朝市を行うことが、来所者の増加や活動周知につながっています。
- ③集会所は、単位町会長の理解と協力を得て無料開放されており、老人会では引きこもりをなくしていこうと集会所への参加を促しています。
- ④自治会・老人会・民生委員児童委員会など地域組織の担い手が気軽に話し合い協力し合っ  
て取り組んでいます。

### 参加者の声

- 大人:
- 子どもたちとのふれあいがあり、楽しい。
  - 将棋、麻雀、五目並べ、グラウンドゴルフなどを通じて、子どもたちに教えることが楽しく大事だと思ふ。
  - 勉強を教えたり、一緒に絵を描いたりすることが脳トレになる。
- 子ども:
- 勉強を教えてもらえるのがいい。
  - 一緒に大人の人から遊びを教えてもらったりするのが楽しい。
  - 知らない大人の名前を覚えて話しやすくなった。
  - 絵が上手になったと言われた。

### 活動者コメント

- 1人でもできる運営と企画を心掛けています。
- マナーにならないよう、なごやかな雰囲気づくりをするように意識しています。
- 住民の趣味や特技を生かせるような運営をしていきたい、と考えています。
- 都合があるときは、休めるようになっているので負担が少ない。
- 義務的にならないようにしていきたいです。



参考 □活動場所:鈴の宮住宅 第一集会所/管理事務所  
堺市中区八田寺町291  
□実施主体:鈴の宮住宅老人会

□電話番号:090-1581-4807

事例  
1  
事例  
2  
事例  
3  
事例  
4  
事例  
5  
事例  
6  
事例  
7  
事例  
8  
事例  
9  
事例  
10  
事例  
11



## この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1** あるひとりの児童を支えるところから始まり、複数人を支える活動へ発展させている
- ポイント2** 小学校や区役所（家庭児童相談室）等と連携をとり、ボランティアができることと専門機関ができることを意識して活動している
- ポイント3** 近隣スーパーや活動に興味を示してくれる方とのつながりを大切にし、新たな出会いや交流が生まれている



ひとりの児童を支えることから複数人のための居場所へ



活動  
スタートの  
きっかけ

家庭の事情により、毎朝6時頃から小学校の校門前で開門を待ち、夕方は日が暮れても外にいる児童がおり、近隣住民で声をかけたり、時には食事を一緒にすることもありました。そのようななか、全国的に広がっている「子ども食堂」を知り、他にも諸事情で夕食を十分にとれない子やひとりで食事をする子がいることを知り、地域住民として少しでも力になればと思いつき取り組むことにしました。開催にあたり、会場を借り上げ、自費で改修し衛生許可を取得。独自のつながりと電光掲示板でボランティアを募集し、賛同してくださったボランティアスタッフとともに活動を開始しました。

活動内容

- 毎月第4金曜日 18:00～20:30に、子ども100円、大人300円で夕食を提供しています。
- 子ども食堂のチラシを作成し、保護者に理解をしてもらったうえで、子どもたちには参加してもらっています。



特徴	主体 個人	対象エリア 校区単位・ 区域レベル	担い手 少人数	活動頻度 月に 1回以上	モノ 必要な 備品の調達	場所 既存の スペース
----	----------	-------------------------	------------	--------------------	--------------------	-------------------

データ

活動頻度	子ども食堂 月1回(第4金曜日 18:00~20:30)		
参加者属性	子ども8~10人、大人10人	参加平均人数	18人
参加対象	小学生、中学生、高校生、保護者、その他住民等		
担い手属性	ボランティア	担い手人数	8人
立ち上げ費用	20万円(財源:自費)		
活動継続費用	-		

## 工夫・効果

### ①近隣スーパーの食材協力

スーパーマルシゲ鳳店から食材や調味料の無償提供をいただいています。以前より店長とは顔なじみで、お願いしに行くと快く協力をしていただけることになりました。

### ②区役所(家庭児童相談室)や小学校と連携

子ども食堂を始める前から区役所(家庭児童相談室)や小学校へ児童の相談に行っていますが、現在も子ども食堂での児童の様子を必要に応じて共有しています。

### ③様々な大人や子どもの交流の場に

口コミが広まり、様々な方が見学に来てくれるようになり、子どもたちや大人が交流することでお互いに刺激をもらっています。例えば、介護に興味のある高校生の参加者が、ボランティアスタッフの知人で介護の仕事をしている方とつながり、介護のアルバイトをしながら資格取得をめざすようになりました。この場を開いていたからこそ生まれた出会いだと嬉しく思っています。

## 協力者の声

スーパーマルシゲ鳳店  
店長 南野一桐さん

芝辻さんから「子ども食堂」への食材協力のお話をいただき、非常に大事な取り組みであると感じました。ぜひ当店としても応援していけたらと思います、できる範囲で協力させていただきます。

地域の子どもたちが元気に成長してってくれる一助になれば幸いです。

## 活動者コメント 子ども食堂ともちゃん 責任者 芝辻友一さん

私たちの取り組みで根本的に子どもを救うことや、虐待の問題を解決することはできないと思っています。私たちができることは微々たるものでしかないですが、子どもたちが月1回でもこの場に来てガス抜きをしてもらえたら、子どもたちの何かの役に立てているのではないかと信じてやっています。学校をひきこもりがちな子がここでは元気にたくさん話してくれるのを見ると、学校でも家庭でもない、居心地の良い場所になっているのかなと思います。

今後は近所のおじいちゃんやおばあちゃんに関わっていただき、子どもたちに色々なことを教えてもらい、高齢者の方にも元気になってもらえたらと考えています。また、狭いエリアでいいのでこういった場が各所に広がり、人と人をつないでいってほしいと思います。

## 参考

□活動場所：堺市西区鳳中町5丁168番地5 「ともちゃん」内  
□実施主体：芝辻 友一

□電話番号：072-268-2225  
□E-mail：infinity@ray.ocn.ne.jp

事例  
1

事例  
2

事例  
3

事例  
4

事例  
5

事例  
6

事例  
7

事例  
8

事例  
9

事例  
10

事例  
11

# 事例 3 日生ひまわり会/ファミリーの会

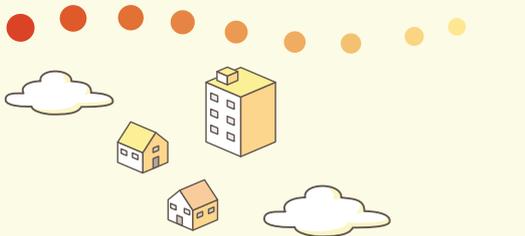
## この集いの場の **ココがおもしろい!**

**ポイント1** 250世帯ほどの町会でサロン活動を実施  
—— 徒歩圏内で集まりやすく顔が見える関係に

**ポイント2** 高齢化が進むなか、それぞれができることをできる範囲で取り組む  
—— ボランティア活動による介護予防の実践



## 気軽に集える 地域の居場所を 町会単位で



### 活動 スタートの きっかけ

一戸建ての住宅が続き40年程前の宅地開発で、同時期の入居者がほとんどの250世帯ほどの小さな町会。住民の大半が独居あるいは高齢世帯であり、高齢化が著しく進んでいる地域でした。

高齢者の孤立やつながりの希薄化が心配されるなか、平成23年に住民が少しでも安心・安全に暮らせるようにと、**自治会の有志で集まり、相互の見守り活動やサロン活動を行うボランティアグループ(日生ひまわり会)を結成**しました。もともと独居高齢者の会(ファミリーの会)として会員相互の互助組織がありましたが、役員の成り手の問題などで活動を継続することが難しくなってきたところを、単位自治会のボランティア組織(日生ひまわり会)が運営を協力することで組織を継続することができました。

### 活動内容

- ① 高齢者対策(見守り・サロン) …… ○ふれあいサロン ひまわり：ふれあい喫茶、歌声喫茶、健康体操、脳トレなど(参加費100円)
- ② 環境美化(公園管理) …… ○ふれあいサロン ファミール：レクリエーション、脳トレ、健康体操、福祉学習会など(参加費100円)
- ③ 子ども安全(登下校見守り)

特徴

主体  
地域組織

対象エリア  
単位町会

担い手  
少人数

活動頻度  
月に  
1回以上

ヒト  
担い手の  
負担軽減

場所  
地域の  
集会所

データ

活動頻度	月2回 ①ひまわり会(第2水曜日 10:00~11:30) ②ファミリーの会(第4水曜日 13:30~15:30)		
参加者属性	近隣住民	参加平均人数	30~40人
参加対象	主に町会内の高齢者		
担い手属性	日生ひまわり会(単位自治会の有志ボランティア)	担い手人数	18人
立ち上げ費用	0円(財源:自治会の支援として自治会集会所利用料無料、参加費負担)		
活動継続費用	約50,000円(財源:自治会より補助、地域のつながりハート補助金、参加費負担)		

工夫・効果

- ①自治会の役員とは別の役割を担うことで、自治会役員の負担を軽減し、担い手を維持しています。
- ②単位自治会の活動のため、顔が見える関係、徒歩圏内で集まりやすい自治会館で開催しています。
- ③少し元気な高齢者と、少し支援を必要とする高齢者の相互の見守り合い、声のかけ合いを行っています。

### 参加者の声

- いつもここで顔をあわせるので段々と慣れてきました。道で会った時もあいさつできるようになりました。
- 月に数回ここでおしゃべりしたり、交流できることを楽しみにしています。
- 家にずっと閉じこもっていると気が滅入ってだんだんと体調も悪くなったりするけど、ここに来だしてからこれまであった頭痛やめまいがなくなった! わいわいとおしゃべりすることでストレス解消になるし、病院に行くよりずっと効果があると思います。



### 活動者コメント

- 活動をはじめて早6年。参加者も増えてようやく軌道に乗ってきたと思う反面、地域で閉じこもりがちの方、本当に来てほしいと思う方にどう参加してもらうかが課題です。
  - 男性にもっと参加してもらいたいと呼びかけていますが来てもらえない。一度来られてもなかなか続かないです。
  - ひまわり会の活動はあくまでボランティア活動だけど、もっと自治会の理解と協力を得たいです。
  - 毎月のプログラム(特技の発表)は、探せば町会内に色々な趣味を持った方がいるのであまり苦労していません。特技の発表の場となるので出演者も張り合いになり日々練習に励んでいます。
- 
- 高齢者の趣味、いきがい活動の向上、ボランティア活動による介護予防の効果を実感できました。



参考

- 活動場所: 日生初芝自治会集会所 堺市東区野尻町70-211
- 実施主体: 日生ひまわり会

事例 1

事例 2

事例 3

事例 4

事例 5

事例 6

事例 7

事例 8

事例 9

事例 10

事例 11



特徴

主体  
サークル

対象エリア  
集合住宅

担い手  
少人数

活動頻度  
数ヶ月に  
1回以上

場所  
開かれた  
施設スペース

データ

活動頻度	2ヶ月に1回(奇数月 14:00~)		
参加者属性	新金岡第7次住宅住民	参加平均人数	15人
参加対象	新金岡第7次住宅住民		
担い手属性	笑話会(自主グループ)	担い手人数	約10人
立ち上げ費用	—		
活動継続費用	少額(財源:寄付による運営)		

工夫・効果

- ①新金岡市民センター2階の北区区民活動支援コーナーを無料で活用しています。
- ②定例会の内容は、前半、『知らないことを知る!』という目的で様々な情報提供や講座を開催して知識を増やし、後半は『今感じていること、気になること、こうなればいいなと思うこと』を意見交換し、課題解決に結びつけていく手法をとっています。
- ③地域包括支援センターなどの支援機関の紹介や周知、専門機関による講座(介護保険・防災・つながりづくり)、担当民生委員との意見交換会などを開催しており、内容によっては若い世代の参加があります。
- ④自治会公認となったことで、自治会活動と一体化した地域のつながりづくりを進めています。

### 参加者の声

- 2ヶ月に1回の開催ですが、住民同士がつながる良い居場所となっています。
- 普段、知ることの少ない専門機関の情報も入手でき、『知っていること』が増えました。
- お助けサービスでは、自分の『少し助けてほしいこと』を少額の代金を介して頼めるので、気兼ねなく利用できて、ありがたい。



### 活動者コメント

- つながることや助け合うことが、これからの生活には必要だと住民の声が高まり、これは立ち上げなければならないとの使命感で集いの場所を立ち上げました。
- 住民への認知度も少しずつ上がってきて、お助けサービスの依頼者から感謝の声を聞くことがやりがいとなっています。



参考

- 活動場所:新金岡市民センター2階 北区区民活動支援コーナー 堺市北区新金岡町4丁1-8
- 実施主体:笑話会

事例  
1

事例  
2

事例  
3

事例  
4

事例  
5

事例  
6

事例  
7

事例  
8

事例  
9

事例  
10

事例  
11

この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1** 校区の幼児から高齢者まで、幅広い層の住民が集い、世代間の交流ができている
- ポイント2** 小学生の夏休み・冬休みの居場所となっている。  
学習コーナーが設けられ、子どもが勉強や宿題を持ってきて取り組んでいる
- ポイント3** 食事会を取り入れ、子どもや高齢者の孤食を防ぐ取り組みをしている



子どもから  
お年寄りまで  
『みんな集まれ  
交流ひろば!』



活動  
スタートの  
きっかけ

校区の民生委員児童委員が中心となり、夏休み中の子どもたちが安心して宿題や交流を深める『居場所』を作ろうと考えたことからこの活動が始まりました。この校区では『大泉学園』という堺市立の小中一貫校があり、小中9年間で1～4年を前期、5～7年を中期、8～9年を後期と段階に応じた指導に取り組み、重点目標として「学力向上」「心育て」を掲げています。児童・生徒数は各学年1クラスずつと少ないものの、地域で『子どもの居場所』『孤食』の問題が起こっていることを背景に開催に至りました。

活動内容

○学習コーナー・遊びコーナーの設置



特徴

主体  
地域組織

対象エリア  
校区単位・  
区域レベル

担い手  
複数の  
組織・団体

活動頻度  
毎日

ヒト  
参加しやすい  
環境づくり

お金  
活動資金を  
生み出す

場所  
開かれた  
施設スペース

データ

活動頻度	夏休み・冬休み		
参加者属性	校区に住む、幼児から高齢者まで	参加平均人数	5～10人
参加対象	新金岡第7次住宅に住む住民すべて		
担い手属性	大泉校区福祉委員会、民生委員児童委員	担い手人数	10人
立ち上げ費用	—		
活動継続費用	30,000円（財源：校区福祉委員会から支出）		

### 工夫・効果

- ① 民生委員児童委員だけの取り組みでなく、校区福祉委員会の事業として位置づけています。
- ② **老若男女を問わず誰でも参加できる居場所づくり**をめざし、高齢者への呼びかけも行っています。  
→ 子どもはもちろん、高齢者の参加を促すことにより、世代間交流ができ、とても良い雰囲気で開催できています。
- ③ 『お腹がすいたから、何か食べたい』と意見が出た翌日から、ホットケーキをみんなで作って食べるという内容も取り入れるなど、参加者の声を柔軟に取り入れています。
- ④ 冬休みの第2回からは、**地域バザーや食事会を取り入れ、子どもや高齢者の孤食を防ぐ取り組み**も行っています。

### 参加者の声

- はじめて参加しましたが、子どもたちが楽しく遊んでいてよかったです。
- のんびり子どもが楽しめました。来やすい雰囲気よかったです。
- すてきな手作り工作ができてよかったです。作り方も優しく教えていただきうれしかったです。
- 食事会での昼食はとても美味しくよかったです。
- 第1回に比べ、第2回はずいぶん充実した感じを受けました。ぜひ、今後も継続してほしいです。



### 活動者コメント

- たくさんの参加者があり、地域を知るための活動となりました。
- 小学校とも連携し、子どもでもわかりやすいチラシを作成し、学校での配布や家庭に持って帰ってもらえるような仕組みを作り、多くの人々に興味を持ってもらいたいと考えています。
- 活動者に負担が偏らないように計画的に実行していきたいです。



参考 □活動場所：堺市立「いこい荘」  
堺市北区新金岡町4丁4番  
□実施主体：大泉校区福祉委員会

事例  
1

事例  
2

事例  
3

事例  
4

事例  
5

事例  
6

事例  
7

事例  
8

事例  
9

事例  
10

事例  
11

# 事例 6

## アーベインカフェ二輪草

三国丘校区福祉委員会

### この集いの場の **ココがおもしろい!**

**ポイント1** 地域包括支援センターの問題意識に  
校区福祉委員会、民生委員児童委員会、  
UR都市機構が共感して立ち上げ

**ポイント2** 校区福祉委員会の活動に位置づけることで、  
回覧など地域での広報が容易になった



### 集合住宅の 多いエリアでの 集いの場を 新規立ち上げ



#### 活動 スタートの きっかけ

堺第2地域包括支援センターは、堺市駅前の市街地再開発エリア（1999年2月竣工のベルマージュ堺をはじめとする集合住宅の立ち並ぶ地域：約1,000戸）で、**重篤化してからの相談が多い**ことに課題を感じていました。そこで、校区福祉委員会、民生委員児童委員会、社会福祉協議会、保健センター、UR都市機構などと意見交換したところ、UR都市機構は「**入居者の高齢化**」、校区福祉委員会・民生委員児童委員会は「**このエリアからのいきいきサロン参加が少ない**」などの問題意識を持っていることがわかりました。

集いの場への住民ニーズを図る目的で、堺第2地域包括支援センターが中心となって平成27年5月に高齢者交流会を開催したところ、50名を超える参加者があり盛況でした。

このことを受けて校区福祉委員会は、担当民生委員を中心に校区福祉委員会主催のいきいきサロンとして開催することを決め、平成28年3月より月1回開催することとなりました。

#### 活動内容

- いきいきサロン（校区ボランティアビューローを併設）
  - ・協力ボランティアによる出しもの
  - ・歌
  - ・お茶とお菓子
- ・堺第2地域包括支援センターによる相談会

特徴

主体  
地域組織

対象エリア  
集合住宅

担い手  
複数の  
組織・団体

活動頻度  
月に  
1回以上

ヒト  
担い手の  
負担軽減

場所  
地域の  
集会所

データ

活動頻度	月1回(第1土曜日 13:30~15:00)		
参加者属性	近隣住民	参加平均人数	30人
参加対象	田出井町、東雲西町1丁在住の高齢者 ※送迎は行っていないため、自力もしくは家族などの送迎での参加が基本		
担い手属性	校区福祉委員(民生委員児童委員)	担い手人数	10人
立ち上げ費用	約100,000円(財源:校区福祉委員会から支出)		
活動継続費用	約100,000円/年(財源:校区福祉委員会から支出…地域のつながりハート事業補助金)		

工夫・効果

- ①新たな住民の参加  
→ 開催場所を増やしたことで、**既存3ヶ所のサロンに参加していなかった人が参加**できるようになりました。
- ②新たな担い手の参画  
→ これまでの活動の担い手だけでなく、新たな人たちに協力をお願いすることで、校区福祉委員会活動に協力してくれる人が増えました。
- ③終了後に地域包括支援センターによる相談会を開催  
→ 毎回参加する地域包括支援センターがサロン終了後に相談会を開催することで、早期相談につながっています。



### 堺第2地域包括支援センター

- 地域包括支援センターが日々の相談で感じた地域課題を、地域の民生委員さんや校区福祉委員さんが受けとめてくださり、当活動を開催できることになりました。

住民のみなさんの思いや力強さに感銘を受け、包括ももっと頑張ろうと力をいただいています。



### 活動者コメント

村上校区  
福祉委員長



- 当校区は、約13,000人が暮らし、人口も多く、堺区では比較的広い校区です。地域包括支援センターをはじめ関係機関の協力により、4ヶ所目のいきいきサロンが開設でき、歩いていける場所でサロンを開催できることをうれしく思います。

中島民生委員長(左)・森本民生委員



- アーベインカフェ二輪草は、対象地域を担当する私たち2人の民生委員がお世話役をさせていただいています。これまで参加されなかった方々もお出でいただいております。やりがいを感じて毎回趣向を凝らして頑張っています。



参考

- 活動場所:アーベイン集会所
- 実施主体:三国丘校区福祉委員会

事例1

事例2

事例3

事例4

事例5

事例6

事例7

事例8

事例9

事例10

事例11

この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1 地域全体で協力し合い、毎週開催!
- ポイント2 準備・片付けは、できるだけ負担をかけないようにする
- ポイント3 みんながホッとできる場。  
地域活動者の参加も多く、ちょっとした相談や、打ち合わせの場にも
- ポイント4 スタッフも、この場が楽しみのひとつ!

地域みんなで  
力を合わせて活動  
スタートの  
きっかけ

「地域みんなが気軽に集える場があればいいなあ」と地区会長などの提案からこの活動は始まります。太井地区会がベースとなり、特定の団体に負担がかからないように**各種団体が協力しながら運営できる体制をつくること**、これが継続していける秘訣ではないかということで、各種団体に協力の呼びかけを行いました。平成23年11月13日から活動スタート。数ヶ月後、新たに喫茶に参加していた方を中心とした有志から「手伝いたい」との申し出があり、現在では月4回の開催が実現しています。

## 活動内容

○ふれあい喫茶(参加費100円) ※おかわりは+100円

コーヒーが苦手な人や子どもも参加できるように、コーヒー以外にカルピスなどを用意しています。

【役割分担】 1週目 : 98会役員(25人)  
2・3週目 : 老人クラブ・福祉委員会(10人)  
4週目 : 女性グループたんぼぼ(9人)

特徴	主体 地域組織	対象エリア 単位町会	担い手 複数の 組織・団体	活動頻度 週に 1回以上	ヒト 担い手の 負担軽減	ヒト 参加しやすい 環境づくり	場所 地域の 集会所
----	------------	---------------	---------------------	--------------------	--------------------	-----------------------	------------------

データ	活動頻度	週1回(毎週日曜日 9:00～11:00) ※第5週は実施なし		
	参加者属性	地域住民	参加平均人数	20～30人
	参加対象	太井地区住民 ※会館内にエレベーターがあるため、階段を上り下りしづらい人も来所可能		
	担い手属性	太井地区会(自治会) 協力:98会(自治会青年部) 役員、老人クラブ・ 福祉委員会、女性グループたんぽぽ	担い手人数	約5人/1回 約45人でローテー ション
	立ち上げ費用	100,000円(財源:地区会費)		
	活動継続費用	約10,000円/月(財源:参加費(売上金))		

## 工夫・効果

- 誰もが参加しやすい場へ…(新しい場所に一步足を踏み入れるのは勇気のいることです)
  - 各種団体に協力してもらうことで、「喫茶においでよ」と呼びかける人(スタッフ)が増え、住民も参加しやすくなっています。
  - 各週で担当スタッフが異なるため、それに合わせて参加者の年齢層や男女の比率も違い、幅広い層の方々が参加しています。
  - 会館内で別の活動をしている住民にも声かけし、会館全体で喫茶を楽しめます。
- スタッフの準備・片付けの負担は、最小限に!
  - 喫茶スペースは、普段会館が空いている時には誰でも使えるようにしているため、テーブルや椅子の出し入れの必要もなく、準備・片付けに時間がかかりません。

## 参加者の声

- 定例で顔を合わす場になっています。こういう場があるのは嬉しいし、毎月が楽しみ。
- 懐かしい人と顔を合わせることもあって、近況を報告しあえる場になっています。
- 地域の打ち合わせをする時は、暗黙の了解でここです(笑)。



## 活動者コメント

- 毎回楽しくやっています。参加者が少ない時は、ボランティア仲間で井戸端会議をしています。
- 地域の集いの場として、ふれあい喫茶の重要性を強く感じており、みんなで協力して継続していこうと思っています。
- 世代交代も含めて、多くの人でこの活動を支えていけるようになれば…。
- この喫茶をはじめたことで、元々遠い存在だったスタッフ同士も顔なじみになって、これからの地域づくりにプラスになっていくと感じています。



- 参考
- 活動場所: 太井総合会館  
堺市美原区太井293
  - 実施主体: 太井地区会

- 事例 1
- 事例 2
- 事例 3
- 事例 4
- 事例 5
- 事例 6
- 事例 7
- 事例 8
- 事例 9
- 事例 10
- 事例 11

この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1** 社会福祉法人の人（福祉専門職）を活用した地域貢献活動であること
- ポイント2** 地域に溶け込んだ校区内の医療・社会福祉法人と協力して運営することで、それぞれの強みを活かして、地域とつながる仲立ちをしている
- ポイント3** 活動メニューはニーズ主体。  
やりたい人・団体がネタを持ち込んでいる!

地域貢献を通じて  
つながる  
新たな拠点活動  
スタートの  
きっかけ

社会福祉法の改正・施行を前に、地域公益的な取り組みを検討したことからこの活動は始まりました。地域（堺区・三宝校区）のニーズに目を向けて、**これまでなかった“ふらっと誰でも行ける場”**としての集いの場をつくることにしました。開催場所は、地域にある文化住宅の一室を借り受けて運営しています。ミュージアムとして収集したレトロな生活用品を展示することで、昔を懐かしむコミュニケーションが生まれやすい場所にもなっています。



## 活動内容

在宅介護支援センターなど法人職員が関わるサロン活動に加えて、**校区内にある社会福祉法人や医療法人、民生委員児童委員にも協力を呼び掛け、介護相談や手芸、体操、ノルディックウォーキング**などその日によって異なるプログラムを用意しています。社会福祉法人として長年に渡り地域で築いてきた関係性を活かし、**近隣住民の方にもボランティアとして運営に関わって**いただいています。また、夏休みには小学生が宿題をする場としても開放するなど、世代を問わず利用してほしいと考えています。

特徴

主体  
福祉・  
医療法人

対象エリア  
校区単位・  
区域レベル

担い手  
複数の  
組織・団体

活動頻度  
週に  
1回以上

ヒト  
担い手の  
負担軽減

場所  
地域の  
空きスペース

データ

活動頻度	①毎週水曜日 12:00～15:00 (ハートピア堺) ②第2・4火曜日 14:30～16:30 (清恵会三宝病院) ③第3土曜日 13:30～15:30 (堺セラピストの会) ④第4金曜日 12:00～15:00 (松屋茶論)		
参加者属性	近隣住民、関係機関	参加平均人数	15人
参加対象	子どもから高齢者まで三宝校区の全住民		
担い手属性	社会福祉法人職員、三宝校区にある医療・福祉事業所	担い手人数	—
立ち上げ費用	2,000,000円 ※大部分は建物の改修費用		
活動継続費用	約500,000円 ※大部分は家賃と光熱水費		

工夫・効果

①さまざまな社会福祉法人が地域と関わることでできる場としての活用

→ これまで地域と築いてきた関係性を活かして、校区内にある他の法人や事業所を地域につなげる媒介役にもなりたいと考えています。ここでの出会いがきっかけで、地域の方から「身近な法人に地域活動の相談をすることができた」というお声もいただいています。

②地域住民との協働運営

→ ボランティアさんや民生委員さんにも協力いただくことで、多様な居場所づくりにつながるとともに、自治連合会の協力で回覧や掲示板を活用した周知を行っていただいています。

三宝校区の事業所のみなさん

- ノルディックウォーキングを企画するなど、私たちも楽しんで活動しています。
- 楽しみながら介護予防につながる活動メニューを考えたいと思います。



運営に協力する  
民生委員さん

- 楽しいですよ～！  
みなさんも  
いらっしゃーい♪
- おしゃべりしに  
来てくださいね♡



参考

- 活動場所：ふらっと三宝 (懐かしミュージアム)  
堺市堺区三宝町 5-277-1
- 実施主体：社会福祉法人 堺福祉会  
特別養護老人ホーム ハートピア堺
- 電話番号：072-222-8080
- U R L：http://www.facebook.com/profile.php?id=100011507837033



事例  
1

事例  
2

事例  
3

事例  
4

事例  
5

事例  
6

事例  
7

事例  
8

事例  
9

事例  
10

事例  
11

# 事例 9

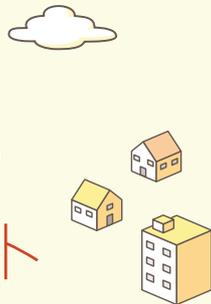
## みんなのマーケットるぴなす

### この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1** 経営が難しいスーパーを福祉の力を活用し運営するビジネスモデル
- ポイント2** 校区福祉委員会、地域とともに地域の課題解決や「あったらいいな!」を叶えていること!
- ポイント3** さまざまな関係機関が運営。毎月運営会議を行う



### 高倉台 みんなの マーケット



#### 活動 スタートの きっかけ

平成26年3月、3度目のスーパーが閉店。「このスーパーがなくなるとは、生活できない

人が出てくる」と住民の要望を受け、NPO法人すまいるセンターと市が話し合いを重ね、**売り上げが低調でも営業を持続できる仕組みを考えた**ことから取り組みが始まりました。スーパー運営は社会福祉法人ライフサポート協会が障害者就労支援として行い、実施はNPO法人すまいるセンターが行うことが決定し、地域ぐるみのマーケットプロジェクトをめざし運営しています。

平成29年4月からは、社会福祉法人ライフサポート協会がスーパー、サロンを一括運営しています。

#### 活動内容

- 生活支援
- 高年齢者の見守りを兼ねたつどいの場（地域福祉の拠点）
- 買い物困難者支援
- 配食
- 栄養・なんでも相談
- 高倉台マルシェ
- 障害者の就労支援
- 集いの場づくり
- 元気モリモリ体操
- 子ども食堂 など

#### 工夫・効果

- ①買い物支援、配食など校区福祉委員会だけでは担いにくい地域課題を事業所で受け、地域の担い手のひとつになっています。
- ②月1回の運営会議には、運営主体のすまいるセンター、社会福祉法人ライフサポート協会、高倉台校区福祉委員会、堺市市場連合会をメンバーとし、協力者として堺市、地域包括支援センター、社協が参加しています。また、校区福祉委員長（連合自治会長）や近隣の開業

特徴	主体 福祉・医療法人	対象エリア 校区単位・区域レベル	担い手 複数の組織・団体	活動頻度 週に1回以上	ヒト 参加しやすい環境づくり	場所 既存のスペース
----	---------------	---------------------	-----------------	----------------	-------------------	---------------

データ

活動頻度	①毎月第1土曜日 10:00～13:00 (子ども食堂・折り紙教室) ②偶数月第3土曜日 11:30～12:00 (絵本の読み聞かせ会) ③毎月第1火曜日 10:00～11:00 (元気モリモリ体操) ④3の倍数月 10:00～15:00 (高倉台マルシェ) ※スーパー(るびなす)は毎日				
参加者属性	近隣住民、るびなす利用者	参加平均人数	2～20人 (イベントの内容による)		
参加対象	子どもから高齢者まで誰でも				
担い手属性	社会福祉法人 ライフサポート協会、NPO法人 すまいるセンター、堺市市場連合会、ボランティア	担い手人数	10～30人 (イベントの内容による)		
立ち上げ費用	—				
活動継続費用	—				



医が出席し、地域の意見を反映させています。

- ③地域の夏祭りにスーパーが出店したり、るびなすが運営する子ども食堂やサロンに地域ボランティアにも参画してもらうなど、地域とるびなすがWin-Winになれる方法を考えながら展開しています。
- ④事業の主体を事業所が担い、賛同した有志の地域ボランティアが協力するしくみをとることで、地域の居場所が増えています。

### 参加者の声

大島校区福祉委員長

校区内高齢化率が34.8%を超え、高齢者だけの夫婦や1人暮らしの高齢者の買い物へ行くことに困っているという声が地域からよく聴こえるようになりました。『みんなのマーケットるびなす』は地域の願いを受けとめ、足腰が弱い方には配達もしてくれるなど、課題解決にも貢献してくれています。今では、地域になくてはならない協力者です。

#### ◎「みんなのマーケットるびなす」に来られた方の声

- ・近くにスーパーが復活したことで、買い物が便利になった。
- ・声を掛けると野菜の量を必要な量に調整してくれるので助かる。
- ・パン、肉、魚、お花も揃ってきているし、ほしい商品をリクエストすると対応が早くてうれしい。
- ・一人で家に居るのではなく、従業員の方との会話を楽しめる、来て楽しい場所になっている。
- ・子ども食堂だけでなく、折り紙教室も一緒にしてくれているので子どもが楽しみに来ている。

### 活動者コメント るびなす店長 別所 徹さん

高倉台の皆様に「るびなすができて良かったわ♪」と喜んで頂けるようなお店づくりをしていきたいと思えます。買い物で役に立つスーパーとしてだけでなく、障がいのある方がいきいきと地域の中で活躍しながら、買い物にお困りになっている方のお役に立つ…そんな支え合いの拠点になります。また様々な社会活動(高倉台マルシェや子ども食堂、なんでも相談、体操などのサロンイベント)を通して地域の皆さんに元気になってもらい、つながりの輪がひろがる、そんな、本当の“みんなのマーケット”にしていきたいと思えます。

参考

- 活動場所：みんなのマーケットるびなす  
堺市南区高倉台3-2-2 (高倉台近隣センター内)
- 実施主体：NPO法人 すまいるセンター、社会福祉法人 ライフサポート協会

□電話番号：072-295-6173

事例  
1  
事例  
2  
事例  
3  
事例  
4  
事例  
5  
事例  
6  
事例  
7  
事例  
8  
事例  
9  
事例  
10  
事例  
11

### この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1** 平日は毎日開所しており、プログラムも豊富なため様々な人が参加できる機会を提供している
- ポイント2** プログラムは、様々な人が趣味や特技、職業を活かして提供しており、「ちぐさのもり」をみんなで盛り上げている
- ポイント3** 手芸品等の展示・販売を行い、出展者に発表の場を提供している



### 薬を使わず 人が人を癒す場



#### 活動 スタートの きっかけ

「学校にある保健室のように、健康の相談はもちろん、暮らしの中での困りごとや心配ごとについて気軽に話ができる場を作りたい」という思いが、このプロジェクトを始動するきっかけになりました。

最終の目標は、元気がなかった人が誰かの役に立つことを知って輝き、地域全体が明るくなることです。誰もが輝く物を持っており、それを引き出すお手伝いをして、薬を使わずに人が人を癒すシステムをめざして活動をしています。

#### 活動内容

- ① コーヒーでも飲みながらお話しませんか? —— 応援員が常駐しています。
- ② 医療・栄養・福祉・行政などに携わる方による無料相談窓口を開いています。
- ③ 共通する悩みや問題について話し合える交流会を開いています。
- ④ 「ことりの学校」… 小さな教室を開きます。
- ⑤ 「鳥の巣ギャラリー」… 趣味で作った作品などを売ってみたい、多くの方たちに見てもらいたいと思っている方のお手伝いをしています。
- ⑥ 一緒にお昼ご飯を食べましょう!  
(ちぐさのもりランチタイム 平日12～13時)

#### 〈プログラム例〉

介護相談／お薬相談／生活相談／栄養部／nagomi体操／ラジオ体操とお茶の会／子育て相談会／男会／畑女子の会／第2ちぐさ(堺育麦キリスト教会)／独居高齢者の会／認知症カフェ／ノルディックウォーキング／折り紙カフェ／えんがわの会(医療と介護の連携)

特徴	主体 福祉・医療法人	対象エリア 校区単位・区域レベル	担い手 複数の組織・団体	活動頻度 週に1回以上	ヒト 担い手の負担軽減	ヒト 参加しやすい環境づくり
----	---------------	---------------------	-----------------	----------------	----------------	-------------------

データ	活動頻度	週5日(月・火・水・金曜日 10:00～15:00、木曜日 10:00～13:00)				
	参加者属性	誰でも参加可能(一部、クローズドの会あり)	参加平均人数	活動により異なる		
	参加対象	誰でも参加いただけます				
	担い手属性	三谷ファミリークリニック、ボランティア	担い手人数	活動により異なる		
	立ち上げ費用	—				
	活動継続費用	—				

## 工夫・効果

### ①老若男女いろいろな人に来てもらえるよう工夫しています

男性にも参加してもらえる男会、子育てなど様々な悩みを持った方同士のクローズドの交流会など、多様な願いをもった人が参加してもらえるようにしています。「鳥の巣ギャラリー」で展示している手作り作品や「畑女子」で販売している野菜に興味を持ってふらっと入ってこられる方もおられます。

### ②専門職ともつながって連携

ちぐさのりの考えに共感していただいた医療・福祉をはじめ様々な専門職の方とつながり、相談会を開催していただいたり、応援員で対応できない困りごとを抱えた方へ対応していただいています。

### ③人の役に立てる！参加者みんなが主役！

参加者同士で会話をし、情報交換することでお互いの役に立っています。また、「こたりの学校」や「鳥の巣ギャラリー」で自分の趣味や特技、興味があることで先生役になったり、表現できる機会を提供しています。男会では、ノルディックウォーキングなど地域で役に立つ様々な企画を立案しています。

### 参加者の声

「ちぐさのり」は、私にとって「かけこみ寺」でした。母を1人で介護して精神的に追い詰められていたとき、医師の勧めで恐る恐る「介護相談」に参加しました。孤立状態で介護がいつまで続くのかと一番苦しい時期でしたが、少しの時間、母と離れてしんどいことを話すことで、ケアマネさんや新しい友達とのつながりもでき、心が楽になりました。今は、母を看取り自分の時間をどう過ごそうか考えています。もちろん「ちぐさのり」にも関わっていきたいと思っています。

### 活動者コメント

「ちぐさのり」にしていると、年齢や性別に関係なく、多くの方が孤立感や不安感、さびしさ、生きづらさなどを感じて生きていることを感じます。その全てを受けとめ解決できるわけではありませんが、「あなたは一人ではないよ、その問題みんなで考えていこうよ…」というメッセージを送り続けたいと思っています。そして、少しでも元気に笑顔になっていただけたら嬉しいです。その方の存在が、たくさんの人を元気にしたり勇気づけたりすることを知っていただきたいと思います。「ちぐさのり」は、人と人がつながっていける場所です。



### 参考

□活動場所：みんなの応援室“ちぐさのり”  
堺市西区鳳東町1-49

□電話番号：090-6731-4056

□実施主体：医療法人 三谷ファミリークリニック

□URL：<http://mitani-fc.com/>

事例  
1

事例  
2

事例  
3

事例  
4

事例  
5

事例  
6

事例  
7

事例  
8

事例  
9

事例  
10

事例  
11

この集いの場の **ココがおもしろい!**

- ポイント1** 「介護施設のイメージを変える!」をテーマに、誰でも気軽に立ち寄れるオシャレで温かみのある北欧風デザイン。マーケットには駄菓子から生鮮食品まであり、子どもから大人まで毎日賑わっています
- ポイント2** ゆったりとくつろげる「OAK café」。<sup>オーク・カフェ</sup>バリスタ & 管理栄養士によるこだわりの「スペシャルティコーヒー」と「自家製ランチ」が驚きの安さで味も絶品!
- ポイント3** 企業などから様々なジャンルのスペシャリストを招き、他にはない楽しい限定イベントを定期的開催♪



多世代を  
ゆるやかにつなぐ  
“タテ”のつながりと  
地域の“ヨコ(面)”の  
つながりを結ぶ場所



活動  
スタートの  
きっかけ

保育施設・高齢者施設を運営する当法人では、平成27年11月より地域密着型特別養護老人ホーム「グランドオーク百寿」を新たに開設しました。地域密着型特養の特徴は、慣れ親しんだ地域で安心して過ごせるよう、堺市在住の方のみを受け入れるということです。しかし、開設することが決まってからいくつかの疑問が頭をよぎりました。「果たしてそれだけで地域密着型と言えるのか?」、「もっと地域に根差した施設をめざすべきではないのか?」、これがきっかけでした。

入居される方やその関係者だけではなく、**地域の方も施設に気軽に訪れ、地域全体で顔の見える関係をつくる**ことが地域密着につながるのでは…。この想いを実現すべく、活動がスタートしました。

活動内容

- ① 地域の人たちが集える「地域交流スペース」では、カフェ・ランチのほかに日替わりで生鮮食品販売(朝市)やコーヒーセミナー、音楽ライブなど**様々なイベントを実施**しています。
- ② 毎週水曜日には朝市を開催し、**地域の方が育てた地元の野菜を販売**しています。

特徴

主体  
福祉・  
医療法人

対象エリア  
校区単位・  
区域レベル

担い手  
複数の  
組織・団体

活動頻度  
週に  
1回以上

ヒト  
参加しやすい  
環境づくり

場所  
既存の  
スペース

データ

活動頻度	①火～土曜日 9:00～17:00 (カフェ) ※月曜日は隔週営業 (第2・4のみ) ②火～土曜日 9:00～11:00 (モーニング)、11:30～14:00 (ランチ) ③毎週水曜日 9:00～11:00 (野菜の朝市) ④不定期 (多世代イベント)		
参加者属性	特別養護老人ホーム入居者、地域住民	参加平均人数	120人/日
参加対象	対象制限なし (但し、イベントに関しては内容次第で対象制限を設ける場合あり)		
担い手属性	○カフェ・ランチ・イベント運営 → グランドオーク百寿職員 ○駄菓子スペース → 株式会社フルカウント、地域ボランティア ○野菜の朝一 → 地域の農園チーム「スマイキーファーム」が出演	担い手人数	職員：10人 ボランティア：20人 地域団体 (スマイキーファーム)：8人 計：38人
立ち上げ費用	—		
活動継続費用	—		

工夫・効果

- ① 1階のカフェに入居者が自ら来られる機会が多くなり、入居者が地域の方と顔見知りになったり、ご家族も会いに来る頻度が高くなりました。
- ② 地域の“困った”を解決することで、地域の団体や住民から信頼を得ています。
- ③ 地域と連動することで、地域で作った野菜が売れたり、子どもにも多く参加してもらうことができ、通いの場としての機能が高まることで「顔の見える関係」が増えてきています。

参加者の声 民生委員長の声

- 校区内高齢者化率が33.4%を超え、新たな事業やパワーのいることをするには、どこかの誰かとつながらないとなかなか始まりません。行くところも増えたとし地域が良くなったと感じます。
- 地域の側から“一緒に”とは声をかけにくいですが、施設側から“一緒に”と言ってくれたので始められました。

活動者コメント グランドオーク百寿 施設長 山口 大輔さん

- 地域密着や地域に貢献するということは、『する側』だけの想いで進めてはいけないと日々の活動を通じて感じています。重要なことは、地域を知り・人を知り・ニーズを知り・地域と共に進めていくことではないでしょうか。



参考

- 活動場所：グランドオーク百寿  
堺市南区茶山台3-22-11
- 実施主体：社会福祉法人 よしみ会  
地域密着型特別養護老人ホーム グランドオーク百寿

- 電話番号：072-291-0222
- URL：http://www.grand-oak.jp/
- facebook：https://www.facebook.com/grandoak100/

事例 1  
事例 2  
事例 3  
事例 4  
事例 5  
事例 6  
事例 7  
事例 8  
事例 9  
事例 10  
事例 11

# 人と人が出会うことから何かが始まる

地域の集まれる場で、顔見知りを増やすことから気づきや助け合いが生まれます。困ったことを支えてくれるサービスは増えてきましたが、サービスの利用だけでなく、ご近所さんや顔見知りの方からの手助けを組み合わせ、安心できる暮らしを地域で続けていくことが大切です。

寺子屋活動

事例 1 寺子屋 … p.3-4

子育てサロン

朝食を週の半分以上  
1人で食べると答えた  
小・中学生<sup>\*1</sup>  
2人に1人

47.2%

朝日新聞(平成28年7月1日)の記事によると、全国で少なくとも319ヶ所(5月末時点)開設されています!子どもの居場所としてだけでなく、高齢者の社会参加の場や多世代交流の場となっているところが多くあります。

子ども食堂

多世代交流の場

事例 2 子ども食堂「ともちゃん」…p.5-6

事例 9 みんなのマーケットるびなす … p.19-20

空き家を活用して若者と高齢者が一緒に生活するホームシェアの取り組みが全国で少しずつ広がっています。

私  
た  
し  
暮  
ら  
し  
は  
ひ  
と  
り  
の  
身  
近  
に  
広  
が  
る

「地域のために貢献したい」という思いで、集いの場づくりや専門知識、ノウハウの提供、人材派遣、資金・場所提供など、それぞれの地域に合った多様な取り組みが始まっています。

若者と高齢者の  
共同生活

全世帯のうちの  
1人暮らし<sup>\*2</sup>  
3人に1人

31.7%

社会福祉法人による  
地域貢献・企業のCSR

事例 8 ふらっと三室 … p.17-18

事例 11 グランドオーケウ百寿 … p.23-24

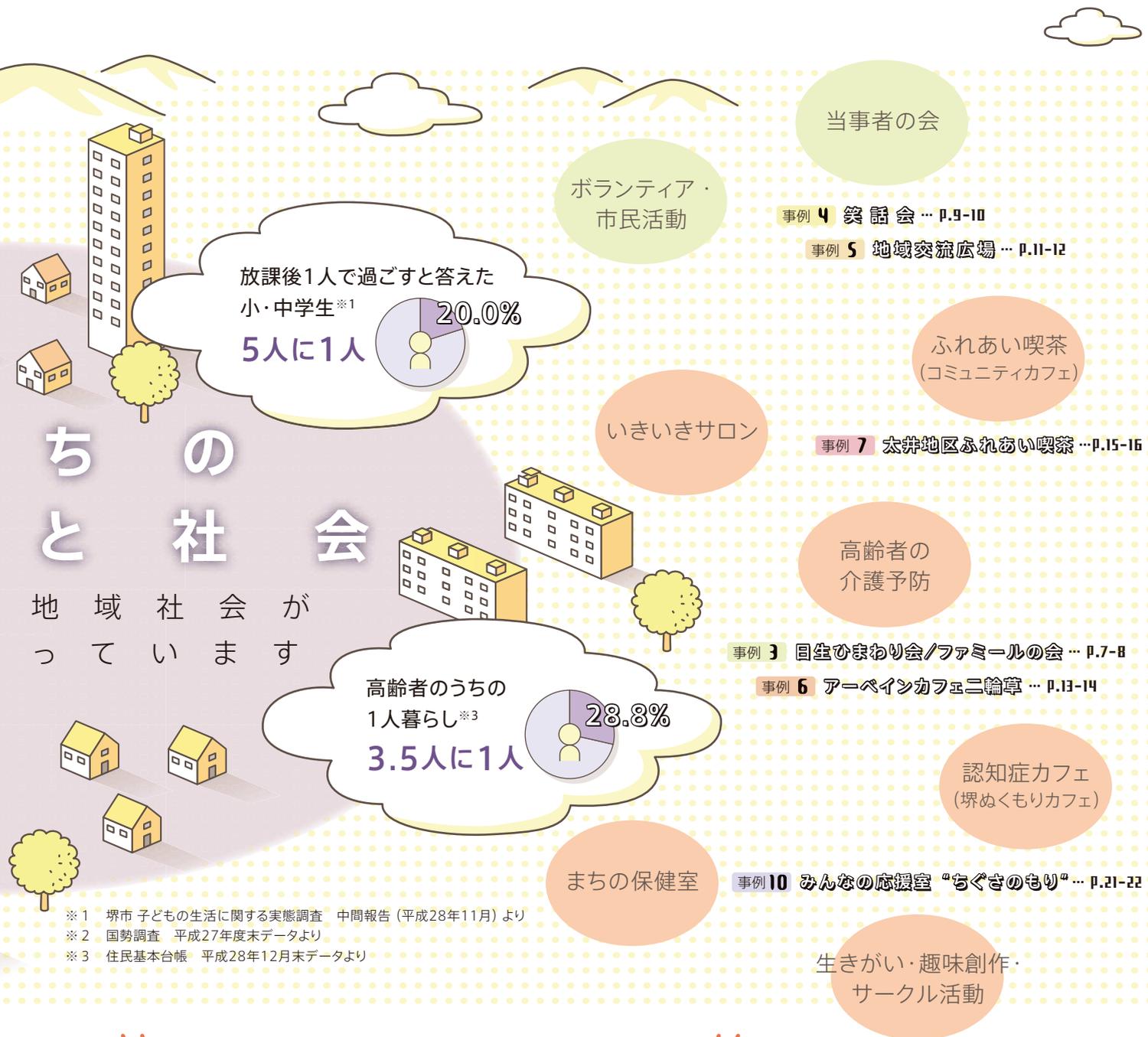
## 立ち寄れる場所があると、こんなにいいことが!

家にも居場所がない、ひとりでいてもやることが見つからない…など悩んでいる方は世代を問わず意外と多いもの。出かけられる場所が見つからず、人とつながるきっかけを逃してしまい、閉じこもりがちになる方もいます。人と交流する機会を見つけることで、楽しみができたり、元気が出てきます。また、情報交換をしたり、日頃からの支え合いの輪が広がっていきます。安心できる『場所』を地域のなかで増やしていく場づくりを堺市社会福祉協議会は応援しています。



# 地域社会は「問題発生」と「問題解決」の場所

私たちは地域社会のなかで暮らしています。地域のなかで、問題が起こらないよう予防したり、いち早く発見して支え合いの手をさしのべられるのは、ほかならない地域社会です。人と人が出会い、つながっていくことで、ますます暮らしやすい地域になっていきます。



※1 堺市 子どもの生活に関する実態調査 中間報告 (平成28年11月) より  
 ※2 国勢調査 平成27年度末データより  
 ※3 住民基本台帳 平成28年12月末データより

## 「集いの場」ってこんなところ!

新しい人間関係が生まれる

無償・低価格で気軽に出かけられる場所

能力を活かせる・自己実現の場

身近な地域の情報共有・情報交換の場

お店や企業も一緒に取り組む

役割を持って参加することが介護予防に

# 集いの場づくりまでの流れ

集いの場を始めるまでの流れは次の通りです。それぞれの集いの場によって詳細部分は異なりますが、みなさんも「きっかけ」があれば、集いの場づくりを考えてみませんか？

## きっかけ

- 課題がある
- 場所がある
- やる気がある
- 仲間がいる
- …など

## 企画する

- 気になっていること / できそうなこと
- 誰と / どこで やるのか
- 具体的な活動のイメージづくり …など

私たちがしさを  
なんだろう？



### 協力者さがし



- 友人
- ご近所さん
- 自治会長さん …など

### 場所さがし



- 空きスペース
- 空き店舗
- 地域の会館 …など

### 必要な物品あつめ



- 机、椅子
- 調理器具
- お菓子、飲み物 …など

### 予算イメージ



- 最初に必要なお金
- 運営していくために  
必要なお金 …など

## 情報収集 (相談する)

堺市社会福祉協議会  
地域福祉課 /  
各区事務所  
(→ 連絡先はP.30へ)



## 準備する

- 内容、開催日、時間、  
必要物品 (お菓子や飲み物)、役割分担
- チラシ作成、  
SNSを活用した広報・啓発活動 …など

例えば！  
試行的に  
開催してみるのも  
アリ！



さあ、やってみよう！！

# 〈 集いの場づくり / 企画シート 〉

1

まずは、「きっかけ / 最近気になっていること」、そのことに対する「私(たち)ができそうなこと」を整理してみましょう

きっかけ / 最近気になっていること

例) 退職して時間がある、子ども食堂、子どもの居場所がない

私(たち)ができそうなこと

例) 子どもと遊ぶのが得意、小学生になら勉強を教えられる

2

できそうなことに賛同し、「協力してくれそうな人」、「活動を行う場所」を考えてみましょう

だれと

例) ご近所の〇〇さん(調理師)、自治会の△△さん、友人の〇〇さん

どこで

例) 自治会館(空いている第1火曜日夜間)

3

実施に向けて、具体的な企画書づくりをしていきましょう

名称

例) 子ども食堂「たんぽぽ」

なんのために

例) 子どもの居場所づくり、孤食を減らす

なにを

例) 晩ご飯の提供、勉強を教える、遊びの場

いつ

例) 第1火曜日の18時～

だれに

例) 校区内の小・中学生(20人程度)

どうやって(お金/モノ)

例) ご近所の〇〇さんを中心に簡単な調理をしてもらい、近隣の商店に食材の協力を呼びかけてみる、参加者から参加費をもらう(100～300円程度)

呼びかけ方

例) チラシを作成する、自治会を通じて小・中学校に広報をお願いする、自治会で回覧してもらう

その他・備考

!

★このほかにも、活動を考えるときには、「実施に向けたスケジュール」や「話し合って決めること(誰と/何を)」などを明らかにしておくがスムーズです。

★活動がもたらす効果を考えることも大切ですが、なによりあなた自身が「楽しんで」「わくわく」しながら企画することがポイントです。

悩みごとを上手に解決 — 協働っていいかも♪

# マンネリ化していた サロンが活性化!



.....【活動4年目での悩み】.....



- ・参加者があまり来ない...
- ・当日の運営が大変...
- ・ボランティアも少ない...

ある『いきいきサロン』の場合

- 毎月1回/13:30～
- 社協・包括支援センター・保健センターが毎回輪番で運営をサポート

..... エリア情報 .....

- 市営住宅中心エリア
- 自治会加入率：約30%

現状

- ・住宅内の高齢化率も高まり、一人暮らしの方も多数...
- ・閉じこもりの方も多い気がするが、活動しても参加者が少ない...

関係者で話し合い

テーマ「活動を盛り上げるには」

- 【1回目】：活動の現状と理想を考えよう
- 【2回目】：手伝ってくれるところを探そう
- 【3回目】：たくさんの人に知ってもらおう

【協議メンバー】

担い手ボランティア / OB / 町会長 / 元会長 / 民生委員 / 地域包括支援センター / 在宅介護支援センター / 保健センター / 社会福祉協議会 ...など

無料で  
手伝ってくれる企業が  
ありますよ



広報紙の作り方を  
教えてくれる  
みたいです

近くに数ヶ所ある  
デイサービスにも  
声をかけてみましょうか

協働

牛乳配達業者と...

『骨の健康チェック』

- |    |   |
|----|---|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康講座</li> <li>・骨密度測定</li> </ul> |
|----|---|

～参加者の声～  
自分の今の状態を知ることで、健康を心がけて生活しようと思った。

... 協働してみても ...

少しでも住民のみなさんの健康寿命を伸ばしたい。その想いは我々も同じなので、このような機会は逆にありがたいです。

新聞配達業者と...

『脳トレ/壁新聞作り方講座』

- |    |  |
|----|--|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事クイズ</li> <li>・コラム書き出し</li> </ul> |
|----|--|

～参加者の声～  
身近なものが脳トレの道具になるとは思わなかった。

... 協働してみても ...

地域住民の方々と触れ合うことができ、私達も楽しく講座をすることができました。沢山のつながりができて大変良かったです。

デイサービス事業所と...

『介護予防体操』

- |    |  |
|----|--|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康体操</li> <li>・転倒防止講座</li> </ul> |
|----|--|

～参加者の声～  
みんなと笑いながら運動すると、元気になれた気がする。

... 協働してみても ...

地域にある事業所として、住民のみなさんと何か一緒にしたかった。少しでもみなさんの役に立てれば嬉しい。

結果

- ★マンネリ化が解消! → 参加者が20人以上に
- ★負担感が軽減 → みんなとの協働で運営もラクになった
- ★地域が盛り上がり → 「ふれあい喫茶」(週1回/60人以上参加) 新たな活動が誕生

個人で考えるより、みんなで考えた結果、活動が盛り上がった。できないことをサポートしてもらって助かった。



# 「よし、集いの場をはじめたい!」と思ったら…

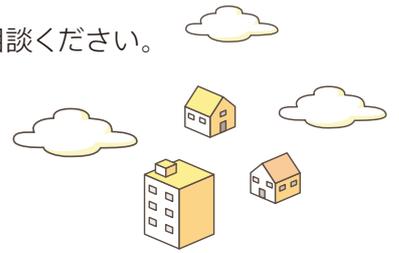
この事例集を読んで、「やってみたい」「私にもできるかも…」という思いを感じたあなた!  
堺市社会福祉協議会では、その気持ちを応援しています。ひとりではなかなか難しいと思うことでも、協力者や他の団体と話し合い、一緒に取り組むことで可能性が広がっていくかもしれません。「地域のために何かしたい!」という思いを大切に、一歩踏み出してみませんか?

集いの場について気になることがあれば、お近くの堺市社協各区事務所にご相談ください。

みなさんの「今、地域で求められている活動ってなんだろう?」

「やってみたいけど何から始めたらいいの?」

という思いをお聞きしながら、一緒に活動の実現に向けて考えます。



## ◎集いの場に関する情報収集・相談先 ——— 堺市社協各区事務所



堺区事務所

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1 堺市役所本館内  
TEL.072-226-2987 FAX.072-226-1952



中区事務所

〒599-8236 堺市中区深井沢町2470-7 中区役所内  
TEL.072-270-4066 FAX.072-270-4088



東区事務所

〒599-8112 堺市東区日置荘原寺町195-1 東区役所内  
TEL.072-287-0004 FAX.072-287-0444



西区事務所

〒593-8324 堺市西区鳳東町6-600 西区役所内  
TEL.072-275-0255 FAX.072-275-0266



南区事務所

〒590-0141 堺市南区桃山台1-1-1 南区役所内  
TEL.072-295-8250 FAX.072-295-8260



北区事務所

〒591-8021 堺市北区新金岡町5-1-4 北区役所内  
TEL.072-258-4700 FAX.072-258-4770



美原区事務所

〒587-8585 堺市美原区黒山167-1 美原区役所内  
TEL.072-369-2040 FAX.072-369-2060

子ども食堂に関するお問い合わせはこちらまで!



地域福祉課

〒590-0078 堺市堺区南瓦町2-1  
TEL.072-232-5420 FAX.072-221-7409

掲載されている集いの場への  
見学・参加についての  
ご相談も可能です。  
お気軽にお越しください。





まちの身近な集える場

# 事例集 Vol.1

今日はどこへ行こう？  
と思える暮らし

発行 平成29年4月

堺市健康福祉局 長寿社会部 長寿支援課  
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1  
TEL.072-228-8347 FAX.072-228-8918

社会福祉法人 堺市社会福祉協議会 地域福祉課  
〒590-0078 堺市堺区南瓦町2-1  
TEL.072-232-5420 FAX.072-221-7409